

経済学部 経済・経営学科 カリキュラムツリー(2026年度以降入学生)

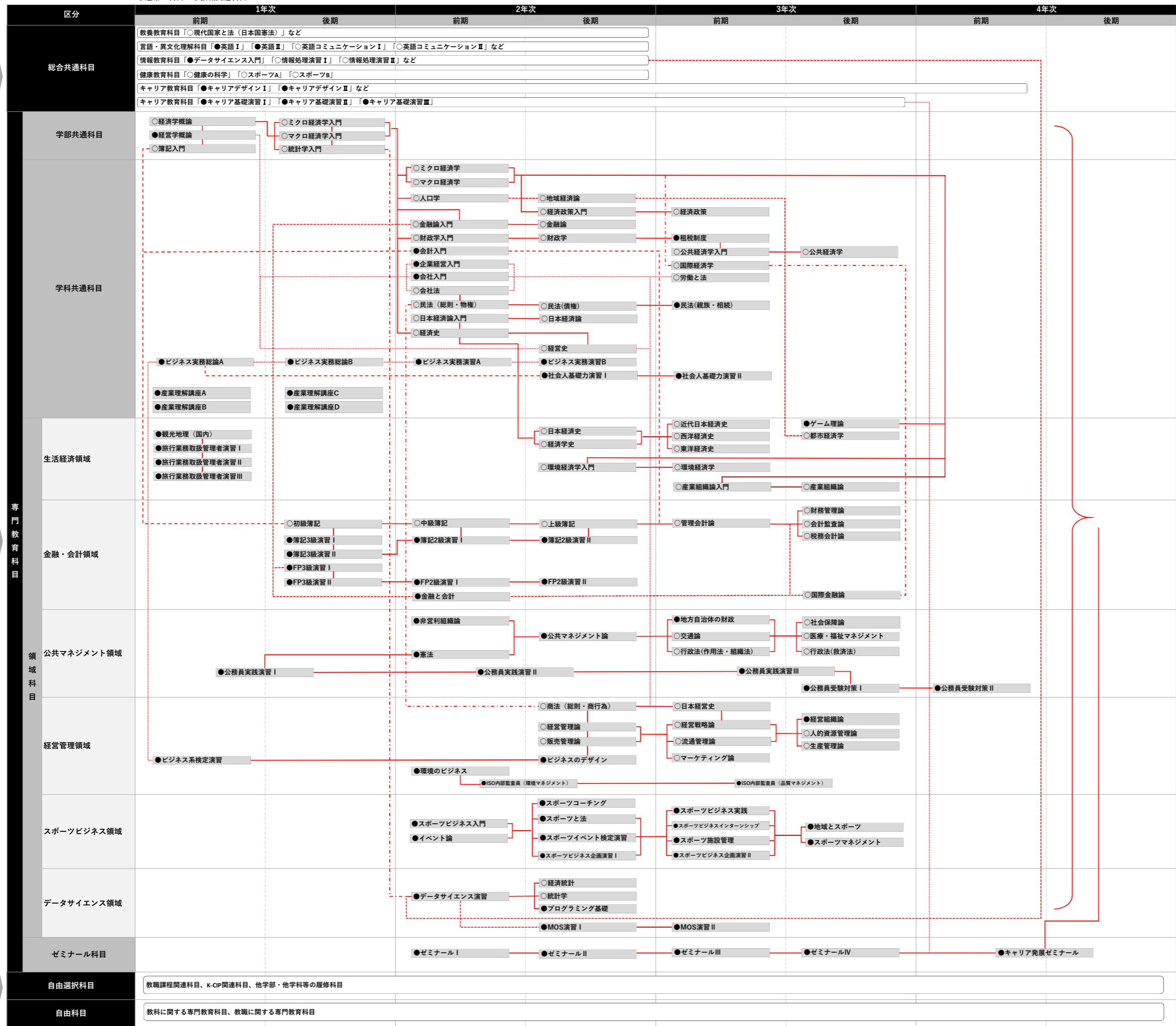
●通常の科目 ○教職関連科目

**教育課程編成・実施の方針 (CP)**  
 経済・経営学科は、大学の教育課程編成・実施の方針 (CP) に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

**【教育内容】**  
 1. キャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、6つの領域(生活経済、金融・会計、公共マネジメント、経営管理、スポーツビジネス、データサイエンス)で求められる幅広い知識を修得する科目を配置する。  
 2. 専門教育科目は、「学部共通科目」「学科共通科目」「領域科目」「ゼミナール科目」で区分し、経済・経営分野の基礎的内容から応用・発展的内容(生活経済、金融・会計、公共マネジメント、経営管理、スポーツビジネス、データサイエンス)までの知識と技能を体系的に修得できるような科目を配置する。  
 3. さらに、ゼミナール科目は、2年次より少人数クラスで展開し、4年次に卒業研究に取り組み科目として配置する。これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。

**【教育方法】**  
 1. 主体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。  
 2. グループ学習においては、協働性・協調性を身に付け、課題解決能力や実践力が身に付けられるよう指導する。  
 3. 演習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。

**【教育評価】**  
 1. 各授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。  
 2. 4年間の学修成果は、卒業研究(必修)によって行い、総合的に評価する。



**卒業認定・学位授与の方針 (DP)**  
 経済・経営学科は、総合的な教養、経済・経営分野での多様な専門知識を身に付け、社会におけるさまざまな問題を解決できる経済・生産活動の直接的な担い手となる人材を養成することを旨とする。この基本理念のもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

**【知識・技能】**  
 学士(経済学)として相応しい教養を身に付け、経済学および経営学2領域の学問体系の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。

**【思考力・判断力・表現力】**  
 実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見出し、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身に付けている。

**【主体性・協働性・倫理性】**  
 経済・生産活動の担い手として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域および国際社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身に付けている。